

回覧

2026 金井地区公民館だより 9月号

第24回金井地区分館対抗 ソフトバレーボール大会の結果

6月14日(日)に金井地区分館対抗ソフトバレーボール大会を開催しました。今年も随所に熱いプレーの連続で会場は大いに盛り上がりました。選手や協力員の方々、応援をいただいた皆様、大変ありがとうございました。

■ ファイトリーグ 5チーム出場

	チーム（分館名）
優勝	吉井本郷 B（吉井本郷）
準優勝	新保青年団 B（新保）
第3位	吉井本郷 A（吉井本郷）
第4位	和泉デンジャラス（泉）
第5位	新保青年団 A（新保）

- 最優秀選手賞 渡部 力（吉井本郷 B）
- 敢闘賞 坂下 宏二郎（新保青年団 B）

■ エンジョイリーグ 5チーム出場

	チーム（分館名）
優勝	平清水（平清水）
準優勝	チーム翼（尾花）
第3位	和泉EJC（泉）
第4位	だちかんチーム（尾花）
第5位	チーム中興（中興）

- 最優秀選手賞 関根 紬（平清水）
- 敢闘賞 岩崎 来夢（チーム翼）

- 応援賞 吉井本郷分館

【お問い合わせ先】

佐渡市教育委員会社会教育課東教育事務所
金井地区教育係（金井地区公民館）

TEL 63-4151

《裏面もあります》

いきいきライフ

あ す な ろ

『お手伝いはこどもを成長させる』

以前勤めていた職場の年配の方から聞いたことですが、その方がこどもの頃は、家で必ず行わなければならない仕事があって、家族で役割分担をして、生活していたとのことでした。今でいうお手伝いのことですが、お手伝いよりももっと大事な役割がある仕事のようなものだったと思います。例えば玄関の掃き掃除や廊下の水拭きなど。それが、当たり前のようにこどもの仕事としてあったようです。

掃除は、職場でもしなければならない仕事の一つですが、何の大変さも面倒くささも感じることなくされている姿を見て、「小さい頃からの習慣は大事なことなんだな」と思わされました。振り返るに、一世代下の私にはそのような家での経験はなく、親が特に何かをしてもらう必要がなかったからなのかもしれませんし、私が何かを頼まれても、嫌だと言ってやらなかったのかもしれません。また、そのようなこどもに甘い親だったのかもしれません。

学校では夏休みや冬休みに、何かおうちの人のお手伝いをしましょうという課題が出ることがあります。郵便受けから新聞を取ってくる、配膳の手伝いをする、草花の水やりなどいろいろあります。では、どういう効果を期待して、お手伝いを課題としているのでしょうか。

お手伝いの効果について、今はやりの「AI」で調べてみました。以下のとおり、良いことだらけです。

- 自己肯定感が高まる（自信がつく）。
- 責任感と役割意識が芽生える（最後までやり抜こうとする気持ちが育つ）。
- 自分で考える力が身につく（うまくいくように、効率よくできるように、自分で工夫する）。
- 生活スキル・生きる力が育つ（将来の自立に必要な力が身につく）。
- 親子のコミュニケーションが増える（会話や絆が深まる）。

このように、お手伝いは今も昔も、こどもの成長にとって欠かせないものだったというわけです。最後に、こどものお手伝いには、次のことを忘れずにお願いします。

すぐに手出ししない、失敗しても叱らない、必ず感謝を伝える